

川崎市議会でも日本共産党を伸ばしていただければ… みなさんの願いを実現する力が大きくなります



自校調理方式で有名な高崎市の中学校給食を視察(2014年1月)

市民の運動と力をあわせて
建設的提案で
要求実現へ
市政を動かしてききました

市民のみなさんの願いと運動と、日本共産党が力をあわせれば、川崎の市政を動かすことができる—この間の実績が証明しています。市議会での党を伸ばしていただくことが、願いを実現する、たしかな力です。

ついに 中学校給食が実現へ

20年来のねばり強い市民運動が実り、中学校完全給食の実施(2017年予定)へ準備が始まりました。共産党はほぼ毎議会で実現を求め、2011年3月議会で提案した「早期実現を求める市議会決議」(全会一致可決)が大きな力に。昨年夏には全中学校を訪問調査するなど、安全・安心のおいしい給食の実現に全力をあげています。

妊婦健診の公費助成14回 産後ケア事業スタート

5回だった妊婦健診の公費助成が14回に(09年度)。「空白の中部地域に小児急病センターを」と求めつけ2013年度に開設。「助産院を活用した産後ケア支援を」との提案が実り、昨年10月から産後母子ケア事業がスタート。

就学援助▶対象項目拡充 申請しやすく改善

中学校のクラブ活動費が2014年度から就学援助の項目に追加(約3千万円)され、部費や遠征費、ユニフォーム代も対象に。申請用紙を全員に配布して回収するなど使いやすく改善。共産党が視察して提案した「足立区方式」が参考に。

避難所になる 公立の全小中高校に 防災倉庫が整備へ

避難所として必要な物資を備蓄する防災倉庫の整備を求め、2015年度までに公立の全小中高校・特別支援学校など175カ所に整備完了予定。非常用電力確保の発電機を全小中学校の体育館に設置へ。

小中高校にエアコン設置 少人数学級は小2に拡大

06年度に天井扇風機、09年度に公立小学校113校、中学校51校、高校5校の全普通教室にエアコン設置が完了。共産党が市に申し入れ、議会で求めてきました。35人以下学級は2011年度から小学2年生に拡大、小3も加配教員により一部実施。

公契約条例を制定—政令市で 工場アパート整備へ検討

中小建設業者や労働組合の運動が実り、市発注の仕事や工事で働く下請け・現場労働者の適正な賃金・労働条件を確保するための「公契約条例」が2010年度に実現。大田区の取り組みを視察して提案した工場アパートの整備を市が具体化を検討。

プレミアム商品券発行 2015年秋に

1万円の商品券で1万2千円の買い物ができ、地域の消費を喚起するプレミアム付き商品券発行が今年秋から実施へ。共産党が議会でくり返し求め、市長に具体化を申し入れ。商店街の街路灯LED化補助も2010年度から。

防災、安全、まちづくりなど次つぎ提言

共産党川崎市議団(現在9人)は議案提案権を行使して、毎年の「予算組み替え」や国への意見書・条例案などの提案だけでなく、防災・安全・まちづくりなど重要課題で

専門家の協力による研究結果や提言を次つぎ市に提出(左下は抜粋)、「調査・提案・行動する党」として力を発揮しています。

- 川崎市の「地震防災戦略」見直しへの提言
- 臨海部コンビナート地震防災対策の提言
- 川崎市の自然エネルギー自立化推進への提言
- 保育園・特養ホーム整備の経済的効用の提言
- 小杉のまちづくり・都市計画のあり方への提言
- 安全・安心・食育の充実、出来立てのおいしい中学校給食を実現するための緊急提案



プレミアム商品券発行の具体的な提案を市に申し入れる共産党市議団(受け取る砂田副市長、今年2月)

「オール与党」市議会で 日本共産党は…

川崎市議会は22年間、共産党以外の党が市長のやることにならなくても賛成の「オール与党」議会。マスコミも「議会で丁々発止

のやりとりを行うのは共産党だけ(東京新聞03年)と。福祉・くらし優先の市政に変えるのは日本共産党の躍進が決め手です。

弱いもの 福祉切り捨て許さず

「福祉を守れ」とたたかう 共産党

この間、高齢者や障がい者の福祉施策が「オール与党」の賛成で次つき廃止・削減(下表は一部。ねたきり老人介護援助手当や難病患者への療養費補助も無慈悲に打ち切られ、2011年には心身

障害者手当が実質廃止に(支給対象者が2万1631人から1600人へ激減)。これらの福祉切り捨てに反対し、「福祉を守れ」と毅然と立ちむかってきたのが共産党です。

「船の来ない港や必要ない橋の建設…税金のムダづかい許さず 不要不急の大規模開発 中止を求める 共産党

福祉を削る一方で、船の来ない港や必要ない橋の建設などを議会であおり予算に賛成する「オール与党」。(下を参照) 港の開発をすすめるために08年結成された「京浜港広域連携推進議員連盟」に

は川崎市議会の自民・公明・民主の全議員が加盟(共産党は参加せず)。税金ムダづかいの大規模開発を中止するよう求めているのは共産党だけです。

1人80万円の海外視察 共産党は参加せず

川崎市議会の議員が税金で海外視察へ。費用は北米・欧州の場合で1人80万円。2012年も欧州班(オランダ、オーストリア、ドイツ)と北米班(ニューヨーク、ボルチモア等)に延べ自民15人、民主11人、みんなの党6人が参加。日本共産党は20年前から参加していません。

川崎市議会 2000年以降 海外視察の延べ参加者数

自民	民主	公明	みんな	神奈川ネット	共産
67人	54人	25人	6人	4人	0

政務活動費の使いみち 共産党の率先した取り組みで 1円単位から領収書公開に

政務活動費(旧政務調査費)の使い道について共産党は1円単位から領収書付きの公開を求め、2001年に条例提案しましたが、自民・民主・公明・ネットが反対。その後も共産党が独自で毎年公開を続けるなか、川崎市議会は09年度から1円単位から領収書付きの公開になりました。



川崎港コンテナターミナルのガントリークレーン(3基で41億円)を視察する共産党市議団

大規模開発をあおり 推進する「オール与党」

川崎の福祉をこわしてきた 「オール与党」

市議会の代表質問から

公明党 「京浜港が国際コンテナ戦略港湾に選定され、川崎港の重要性も増してきた」「羽田連絡道路はわが党市議団も太田国土交通大臣へ早期実現に向け市長とともに陳情活動を行ってきた」

自民党 「東扇島水江町線などの工事は戦略港湾計画の実行にかかわらず整備が必要」「わが党が推進してきた羽田—川崎連絡橋。菅官房長官は早期の整備に注力する意向」

みんなの党 「国際戦略総合特区に、わが会派も大いに期待を寄せらる。臨港道路や港湾整備が特区にどのような効果をもたらすか」「臨港道路東扇島水江町線で架ける橋は観光資源となるか」

民主党 「国際コンテナ戦略港湾に選ばれることは強い追い風になると大いに期待する」「オリンピックが決まり、この好機を逃さぬよう羽田連絡道路など積極的に着手を」

市長提案の福祉切り捨て議案への各党の態度(抜粋)

	共産党	自民党	公明党	民主党	神奈川ネット	みんなの党
重度障害者入院時食事費補助の廃止	●	○	○	○	○	○
バスの敬老無料バス廃止・有料化	●	○	○	○	○	○
老人医療費助成条例の廃止	●	○	○	○	○	○
心身障害者手当の大改悪・実質廃止	●	○	○	○	○	○
高校奨学金の受給額を大幅減額	●	○	○	○	○	○

※みんなの党は昨年解党し、一部の議員(元正副団長)は維新の党へ。